



教育目標 すこやかで きまりのよい子

学校だより 山鳩

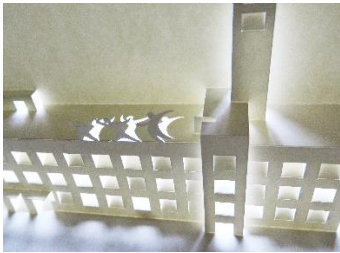
三條市立三條小学校
TEL 33-0174 FAX 33-0248
E-mail sansyo@ed.city.sanjo.niigata.jp
http://www.city.sanjo.niigata.jp/sansyo/
第28-18号
平成29年 2月15日

山鳩コンサート 歴史ある三條小学校に感謝の気持ちを込めて



【校舎写真は昭和40年頃のもので、塔になった部分が望楼です。杉の木の丈がまだかわいいですね。】

市の発展は教育にあり人の和にある …校長 小林 修



◆山鳩16号(1/13発行)で建築家の五十嵐暁浩氏から校舎の紙模型(左写真)を頂いたことをお知らせしました。先日の校舎開放で、見学者が展示のこの模型を見られて「屋上部分の高い場所は何ですか？」と問われました。これは望楼ですが…上写真を見ながら、次の歌をご覧ください。(読んで)下さい。
「はるかなる少年の夢のせて望楼のかなた

夏雲の群れむれにひろがれる (三小校舎改築を祝して) 」

◇この歌は昭和25年度から35年度までの11年間、三條小学校の校長であった酒井誠治先生が昭和30年に作られたものです。歌に「三小校舎改築を祝して」と添えられています。現校舎の完成を三條の人々が待ち焦がれており、希望の素晴らしい建物だったのです。この歌の書物には校舎建築の経緯が書かれています。「昭和25年5月、三條小学校長として着任。意欲的な当時の土田市政は産業都市三條の復興と発展とを願って、その基礎をまさに教育の力に待つとし、教育運営の根幹をなすものは教師であり、人の和にあるとのけい眼をもってあたられた。日頃多端な土田市長は特に日程を設けて校長会と談じ、県外視察旅行を自ら主催して下さった。…(土田市長)“お金がなくなると教育ができるとはいわないが、教育のためにはお金よりも人の和だ…”と。」(そして、これに続き)…明治20年建築という腐朽校舎をかかえた往時の三條小学校が、今日この近代建築として生まれ変わるまでの過程については全く知る人ぞ知る。…おかげさまで同窓会・PTA・学区市民一同が一致団結して市議会をうごかし、土田市長もまた、政治生命をかけての奮闘によって、公立学校には例のない文部省直轄工事に準じての工事施行にまでとりつけられた。…(略) (裏面へ)【2/11有志の皆さんによる「山鳩コンサート」開催され300名もの人が来場をされました。多くの発表の中から4名の紹介です左から順に、渡辺雄太三鳩会副会長、佐藤太PTA環境部長、原田大助PTA会長、笛の指導者の松永一義さんです。】





【2/3(金)1年生が教室で節分の「豆まき」を行いました。このとき、「将来、本成寺の鬼になることを夢に、熱心に鬼踊りを学んでいる布施誉純さんが「鬼踊り」を披露し、1年生は大盛り上がりでした。私も参加させてもらい黄鬼から邪気を払ってもらいました。4枚目の頭をなでてもらっているのが私です。】

(表面より)学区住民の願いを、市議会も市長さんも受け止められて造られた校舎なのです。土田市長とは当時の土田治五郎市長さんのことで、「市の発展は教育にあり、人の和が何よりも大事だ」と校長たちと「地位も肩書きもない人間同士のつきあいの時間を大切にされた」とのことです。「米百俵」が山本有三によって世に知られるずっと前に、小林虎三郎のような考えを持たれた市長さんが三条市発展の礎を築かれたのです。

◆山鳩 17号(1月27日発行)において、三条小学校でスタートした市内の県立高校(東高・三条商業・県央工業)、市立図書館、そして現体育館は市立体育館としての役目も長い期間、果たしてきたことを紹介しましたが…、そうです。望楼は消防署の火の見櫓(やぐら)として作られたのです。この昭和30年の校舎完成から長い期間、望楼は消防署員が市民の安全を守る監視塔であったのです。三条市内には昭和50年位までは高層のマンションやホテル、会社等の建築物はなかったのです。PTAの広報「やまぼと」(昭和55年第3号12月23日発行)に、望楼がその役目を終え撤去された時のことが書かれていますので紹介をします。

「長い間、三小のシンボルとして市民に親しまれ、町を火災から守り続けた望楼が、11月22日その役目を終え撤去されました。この望楼は、昭和30年、市内では初の本格的鉄筋校舎として三小が生まれ変わった際、市内で最も高い望楼として屋上に建てられたのです。四面ガラス張りの望楼からは市内が一望でき、火災の早期発見のため消防署員が24時間体制の見張りを続けました。…『昭和39年の新潟地震の時も署員が昇っており、恐怖がいまだに語りぐさになっています』(消防本部鈴木次長談)三小名物が消え寂しい…」

三条小学校の望楼が三条市民に、とりわけ三小の学区民にとっても大切なもの(シンボル)であったのです。

◆さて、学校は学びの場所で、それ以外の価値はないのかといえば、災害時の役割をはじめ様々な役割があります。こんな状況になっても、三条小学校は今も地震発生時の避難場所に指定をされています。

◇そして「耐震基準に満たないので取り壊しだ」だけではなく、建物が果たしてきた役割を理解することは、ここを使わせて頂いてきた者たちにとって必要なことなのではないでしょうか。

◇私たちは、お盆の時期、年末年始に続き、今回(2月11日)も学校開放を行いました。その度に、多くの皆さんが訪れて下さり懐かしまれるだけではなく、私に望楼を尋ねられた方のように、校舎に新たな発見をされるのです。そのくらい三条小学校は素晴らしい校舎です。

◆ところで、皆さんはこの校舎は鉄骨やコンクリートが十分に使われて頑丈な建物だということを知っておられるでしょうが、「誰が設計(製図)をされたかご存知ですか?」「建築会社、設計事務所かな」と思われるでしょう…、実は当時の文部省施設管理部長であった田中氏が設計をされたのです。文部省の部長自らが筆をとり最高の校舎が出来たのです。三小の校舎は、本当に素晴らしい校舎なのです。

＝ご紹介とお詫び＝ 1月29日(日)の「地域の先生に感謝する会」で山鳩キッズの主任である吉田久一郎さんから子どもたち全員にボールペンのプレゼントがありました。吉田さん、ありがとうございました。

【左3枚:2月14日(火)の午前の晴れ間に1年生が楽しそうに雪遊びをしていました。右2枚:2月9日(木)私が1年生に道徳の授業を行いました。「浦島太郎が、なぜ楽しい竜宮城から、家に帰ろうと思ったか」をみんなで考えました。】

